



「さーぴす」20歳からの子宮頸がん予防」

活動について

さーぴす「20歳からの子宮頸がん予防」代表

渡辺 萌加

はじめに

みなさんこんにちは！さーぴす「20歳からの子宮頸がん予防」です。

「さーぴす」とは cervical cancer prevention education by students (学生による子宮頸がん予防の啓発) が由来であり、その名の通り10〜20代の若者への子宮頸がん予防の啓発を行う新潟医療福祉大学の部活として活動しています。

新潟医療福祉大学について

私たちが通っている新潟医療福祉大学は、6学部13学科からなる看護・リハビリ・医療・栄養・スポーツ・福祉の総合大学です。さーぴすの部員は臨床検査技師と臨床工学技士を目指す臨床技術学科を中心に、看護学科や診療放射線学科など様々な学科の学生で構成されています。

活動理念

子宮頸がんは30代以下の女性が発症するがんのうち最も多く、進行すると子宮摘出が必要となるため若い人の人生設計に大きくかわります。その子宮頸がんの原因はHPV

というウイルスであり、性交渉によつて感染するためその感染には女性のみでなく男性も関与します。

そんな恐ろしい子宮頸がんですが、これは予防することができます。HPVワクチンによる感染予防や子宮頸がん検診による早期発見が可能だからです。子宮頸がんは予防手段が揃っている数少ないがんの1つなのです。

それでは、どれくらいの方が子宮頸がん検診を受けているのでしょうか？実は日本の子宮頸がん検診の受診率は30%以下であり、半数以上の女性が受診していません。米国の受診率は80%以上であるということからも受診率の低さが伺えます。

では、どうして子宮頸がん検診を受けないのでしょうか？忙しくて時間がない、診察が怖いなど色々な理由があると思います。しかし若者からは、そもそも子宮頸がん検診の開始年齢が20歳であることを知らない、子宮頸がんが若い人に深くかわるがんだということを知らないといった声が多く聞かれます。そのためにも彼らと同世代である私たちが啓

発活動を行うことで、まずは子宮頸がんのことを知ってもらおうのが私たちの活動目的です。

これまでの活動と今後の活動

昨年の10月には大学の文化祭である伍桃祭で新潟県細胞検査士会とのコラボ企画として子宮頸がんに関するクイズラリーを実施しました。また、12月には万代シテイバスセンターにて「STEP Ⅲ子宮頸がん予防」という主に10〜20代の若者を対象として子宮頸がんに関するクイズ形式のアンケートに答えてもらい、アンケートに答えた方にガラポンを回していただくというイベントを企画し、300名以上の方に参加していただきました。

2019年7月6日(土)に朱鷺メッセで行われた、第61回日本婦人科腫瘍学会学術講演会では、市民公開講座のゲストとして出席し「さーぴす」の活動を紹介させていただきました。また、座談会にも参加させていただきました。子宮頸がんワクチンについて意見を交わしました。今後の活動としては、新潟県内の

大学で学生を対象とした子宮頸がんに関する出張講義を企画しています。

さいごに

私たちは若年層への子宮頸がんに関する知識の啓発と子宮頸がん検診受診率向上に向けて精力的に活動していく所存です。今後とも、皆様に温かい目で見守っていただけると幸いです。

HPもあるのですからよろしくお願ひします！

<https://cerps20.wixsite.com/website>

連絡先

新潟医療福祉大学 医療技術学部
医療技術学科
さーぴす顧問 池上喜久夫
ikegami@nuhw.ac.jp

